

令和2年度 第2回碧南海浜水族館協議会議録（要約）

1 日 時 令和3年3月17日（水）15：30～16：30

2 場 所 碧南市臨海体育館 第2体育室

3 会議出席者（敬称略）

会 長 角谷竹虎

副会長 多田宏明

委 員 小澤徹、高松陽子、上田章子、石川太一、水野裕子  
長谷川哲巳、宮原英明、堀竜治、阿知波英明

参 与 生田弘幸、岡崎康浩

事務局 杉浦英樹、森徹、地村佳純

4 傍聴者 なし

5 会議概要

(1) 協議事項

ア 令和2年度 事業報告について

イ 令和3年度 事業計画について

(2) 報告事項

ア 令和2年度 碧南海浜水族館運営研究会議について

イ コロナ禍における海浜水族館の活動状況について

ウ その他

(3) 連絡事項

ア 令和3年度 第1回碧南海浜水族館協議会の日程について

6 議事および質疑

(1) 協議事項

ア 令和2年度 事業報告について

事務局 <資料1により説明>

会 長 何かご意見、ご質問はないか。

委員A 様々な会議や研究会が中止になっており、今後もどのような状況になるか分からないが、人と人のつながりは大切なので、できる限り参加していただきたい。

委員 A オリジナルグッズを売り出し始めたということでショップを拝見したが、まだまだ種類が少ないので、今後もネコギギやドラゴンズベビーなど少しずつ増やしていったらどうか。

委員 A オヨギピンノの面白い展示があったようだが、いつ頃まで展示をしていたのか。

事務局 オヨギピンノは長崎ペンギン水族館よりいただいたもの。7月21日から展示を開始しとても人気があったが、徐々に泳ぐ時間帯が短くなってきたことから8月30日で展示を終了した。現在は50匹ほどをバックヤードで飼育継続している。

委員 A ネコギギの今年度の繁殖が上手くいかなかったようであるが、どのような状況であったか。

事務局 当館では累代飼育による繁殖活動という条件下で、親魚の栄養状態であったり、カビやすい卵質であったり大変難しい挑戦であるが、隔年では繁殖している。昨年度は11個体の繁殖に成功した。

委員 A 報告の中で研究発表や論文投稿などの成果が示されていないが、できる限り取り組んでいただきたい。

事務局 今年度はほぼほぼ研究会が中止になったためなかったが、昨年度は、設備に関する内容や、教育普及に関する内容について発表した。

会 長 協議事項(1)令和2年度事業報告について承認の挙手を求める。

全 員 挙手

会 長 令和2年度事業報告について承認されたことを確認した。

#### イ 令和3年度 事業計画について

事務局 <資料1により説明>

会 長 何かご意見、ご質問はないか。

委員 B 油ヶ淵の調査の計画はないのか。地元の水辺環境であることから調査してみてもどうかと思う。

事務局 以前にはクルマサヨリが発見されるなど興味深い環境である。今後どのように調査を進めていくかの計画を検討し実現したい。

委員 C 今年は実施できなかったようだが、ビオトープ関連事業の蜂の巣

解体体験は大人としても非常に興味深い。自分でやっともあったが刺される危険性もあるので安全に解体できる体験企画は貴重だと思う。参加者を集められない状況ではリモートでの体験レポートを紹介しても良いかと思ったが、家族など限定的な少人数の参加者の体験している様子をフェイスブックやインスタグラムなど web 公開など継続的にできたら良いと思った。

委員 C 今年の入場者数はコロナの影響により減少傾向であったが、コロナ禍が終息したら、元年度のようにたくさんの観客に来てもらいたい。令和元年度はリニューアル効果もあって入館者数が増加したと思うが、その他になにか要因はあったのか。

事務局 令和元年度は開館以来 2 番目の入館者数を記録した。年度末に臨時休館をしなかったら最高記録を塗り替える期待もあった。開館以来のリニューアルということで多くの報道に取り上げていただいたことが注目された大きな要因と考えているが、新設したピオトープを活用した活動をはじめ、職員一同各種イベントに力を注いだことが結果につながったと考えている。いただいたアンケートからは、明るい雰囲気になった、エントランスが変わって利用しやすくなったなどのご意見もいただき、リピーターにもつながっていると思われる。

委員 A 来年度の冬の特別展「縁起がいい生き物たち」では個人的には魚の骨のタイのタイなども注目したら面白いと思うが、その他にどのような企画を考えられているのか。

事務局 特別展は今のところすべて仮称であり、今後それぞれ具体的な展示構成を進めていく。冬の特別展では、開催期間にお正月も含まれていることから、お節料理の食材も含めて企画したいと考えている。

委員 A 自然観察会「春の矢作川河口で生きもの観察」はどのような内容であるか。

事務局 今年度は残念ながら中止したが、例年、矢作川河川敷に現地集合し、アイシン精機のボランティアと連携して河口のごみ拾いをし、

その後現地で採集した生きものについて水族館職員が解説をする活動を行っている。

委員 A 生物・収集活動はコロナ禍の中であるが、屋外はあまり関係ないと思うので、大切なフィールド調査はなるべく通年にわたり実施していただきたい。

委員 A 委員 Cが行っているビオトープにおける野鳥観察の継続はとても貴重であるが、確認されたなかで外来種はいるのか。

委員 C 人為的に海外から持ち込んだ鳥類が籠脱けなど逃げて定着したものが外来種と言われている。今回提示した確認鳥類リストの中では、野生化したドバトが挙げられる。今後他にも出てくるかもしれない。

会 長 協議事項(2)令和3年度事業計画について承認の挙手を求める。

全 員 挙手

会 長 令和2年度事業報告について承認されたことを確認した。

## (2) 報告事項

ア 令和2年度 碧南海浜水族館運営研究会議について

研究会議代表委員 <資料3により説明>

会 長 意見質問はないか。特にないようなので、次の報告事項について事務局の説明を求める。

イ コロナ禍における海浜水族館の活動について

事務局 <資料4により説明>

会 長 何かご意見、ご質問はないか。

委員 B 感染防止対策について、どの施設も除菌のためのアルコールスプレーを置いているが、なかにはアルコールが使えない体質の人もいるため、ノンアルコールスプレーも置いていただきたい。

事務局 対応する。

ウ その他

委員 D 先日、碧南高校と水族館が連携して作ったラーメンについてテレビ番組で紹介された。とても美味しいということで自分も買い求めた。その内容についてくわしく紹介していただきたい。

事務局 水族館では小笠原製粉とのコラボレーションで、3種類のオリジナルラーメンを作り販売している。一方碧南高校でも社会勉強の一環として企業と商品開発することを小笠原製粉に相談していたが、売り場の確保やPRの方法について水族館で学習の対応ができないかとの相談があったことから今回のラーメン作りにつながった。生徒は期間中何度も水族館を訪れて企画の修正を重ね、12月12日に発売と同時に販売促進のイベントを実施した。テレビ放映は2週にわたり2回あり、1回目は高校での活動を紹介し、15日は水族館での活動を紹介していただいた。味までは開発できないが、今回の活動では生徒がパッケージデザインを考えて、どのように売り出すかを学習した。

### (3) 連絡事項

#### ア 令和3年度第1回碧南海浜水族館協議会について

会長 報告事項(1) 令和3年度 第1回碧南海浜水族館協議会の開催日程について事務局の説明を求める。

事務局 次年度の第1回協議会は5月下旬を、第2回協議会は3月中旬を、それぞれ15:30～に開催を予定している。  
今回の協議会につきまして、近日中に今回の議事録の素案を各委員に送るので、点検をお願いします。

会長 これで議事の一切を終わる。